



日本共産党松浦市議会議員

## 安江ゆう子の市議会だより

日本共産党の安江ゆう子市議は3月市議会で原子力防災訓練やグループホームの火災問題、国保税の引き下げなど5項目について一般質問を行いました

### 原発の再稼働を許さず、今すぐに廃炉に放射能から身を守る訓練を最優先に

東京電力福島第1原発事故から2年。原発から7・110  $\mu\text{Sv/h}$ の放射線が測定されています。安江ゆう子市議は原発の再稼働は絶対に許さず、原発はただちに廃炉にと述べて原子力防災訓練について質問しました。

東京電力福島第1原発事故から2年。原発から7・110  $\mu\text{Sv/h}$ の放射線が測定されています。安江ゆう子市議は原発の再稼働は絶対に許さず、原発はただちに廃炉にと述べて原子力防災訓練について質問しました。

風向の情報は避難誘導の係には届いていましたか。確認はされましたか。  
総務課長 防災無線を通じていろいろな事故情報、放射線の放出状況等について放送した。放送のみで確認はしていない。

安江 原子力事故では放射能汚染から身を守ることが最も重要なことです。いったん放射能から汚染されればいかに低線量といえども孫子の代までその影響は出ます。放射能から身を守るためには放射能の放出元に対して90度の方向に避難するようにする必要があります。情報収集伝達訓練の中では事故発生時の時間、風速、

安江 市長は常々「放射能は色もついていない。においもしない。汚染されてもわからない危険なものです。だから10条通報の段階で全島避難を」と言われています。つまり10条通報の段階で市の全域が自主避難開始となります。全島避難のとき先行モニタリングに出るよりもそこにいる少ない人数で要援護者とか住民避難に人を割くというのが一



ことが一番優先すべき行動。住民の避難を優先して取り組んできた。先行モニタリングでやるべきこともあるが、ご指摘いただいたのでそのような形が一番市民の安全を守るのか優先順位をつけながら取り組んでいきたい。

末についてのマニュアルはどのようなものでしたか。  
総務課長 今回の訓練は3カ所で被曝訓練がありました。汚染水はそのまま溝に流していたという事実があった。

安江 モニタリングポストは鷹島町と市役所に2つありますが、避難に使う情報を得るには2キロ四方に1個ぐらゐのモニタリングポストが必要という専門家の意見があります。増設を要望します。今回の除染訓練で汚染水の後始

2月2日の避難訓練は初めて東彼3町に市民が避難するという訓練でした。避難訓練に参加した人が、「訓練も大事だけど、放射能が飛んできたら逃げ切れない。もう原発がないことが一番です」と言っていました。

### グループホーム 夜間の一人体制を複数体制にしてほしい

安江ゆう子市議は長崎市で発生したグループホーム火災を受け、市内のグループホーム関係者から直接話しを聞いて、グループホームの火災防止について質問しました。  
安江 2月13日、14日の緊急査察の結果はどうだったか。

消防長 管内9カ所のグループホームではすべての施設にスプリンクラー設備が設置されている。防災物品の未使用及び自主検査未実施を指摘した施設が4カ所あった。

じゅうたん、カーテンなどの防災物品の未使用というものがあつた。

安江 市内のグループホーム関係者から話しを伺ったが、どの施設の方も「火事だけはださないように、いつも注意しています」と口をそろえて言われています。けれども「夜間の一人体制では避難誘導は困難で、複数体制が欲しい」と言われています。この思いに対して市長はどのようにならいますか。

安江 現在の厚生労働省令では夜間及び深夜の勤務を行う介護従事者数は1ユニット、入居者9名に対して1名以上の配置をするということになっておりますが、入居されている方が安全で安心して生活していただくということについては、なかなか一人と